



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.181

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2023.4

院長 石井洋光がフレイルについての講義を行いました

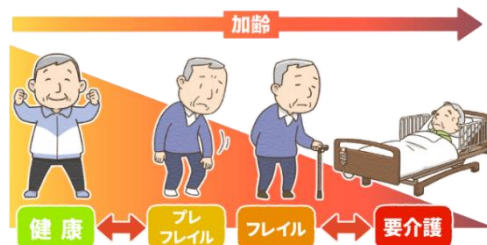
2023年3月2日（木）仁恵会研修センターにて、院長 石井洋光がフレイルについて感染予防等に配慮して講義を行いました。

今回の講義は、地元ボランティアグループ「フレンズ・あかし」のメンバーから依頼があり実現しました。同グループは、当院が作成したリーフレット「フレイルとサルコペニアを予防しましょう！」等を参考にして明石市民を対象としたフレイル予防の啓発活動などに取り組んでいるボランティアグループです。

当日は、7名のグループメンバー及び当院の職員数名も参加し、「フレイル予防へ-人生100年時代を考える-」をテーマに講義が行われました。また、講義前には管理栄養士立会いのもと、グループメンバー皆さんの筋肉量等を評価するインボディ（体成分分析）検査を実施し、結果に基づいて院長より個別に身体の状態や今後の注意点などをアドバイスさせていただく機会を設けました。

新たな試みではありましたが、参加された皆さんからは様々な発見があり、貴重な経験になったと大変喜んでいただくことが出来ました。

今後も機会があればこのような場を設け、地域の皆様の健康をサポートしていきたいと思えます。



フレイルとは…病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。



(石井院長による講義の様子)

栄養管理室より「減量入院ノート」をリニューアルしました！

当院のメタボリック・肥満外来では、減量入院を実施しています。患者さん一人一人にあった食事療法や運動療法などの減量プログラムを考え、医師、管理栄養士、運動療法士、理学療法士、看護師などの多職種で支援しています。

この度、6年ぶりに当院オリジナルの減量入院ノートを改訂しました。このノートは、患者さん自身が体重や食事、運動について記録をつけ、振り返りができるようになっています。肥満症の改善には、患者さん自身の病気に対する知識や理解及び前向きな姿勢が非常に重要です。このノートを活用して、生活習慣の改善を図り、減量をサポートしていきます。

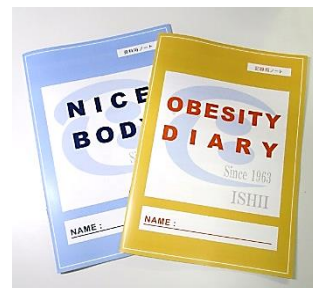
☆こだわりのポイント☆

資料用と記録用の2部構成

- ・資料用は肥満症の病態や食事・運動療法などについて分かりやすく記載しており、各専門職から説明します。
- ・記録用は、グラフ化体重日記・食事・運動日記を付け、振り返りができるようになっています。記録をつけることは肥満症の治療に有効なため、毎日取り組みましょう。

目標シート→減量には、現在の自身の課題を明確にし、実践可能な目標を立てることが必要不可欠です。

スタンプシート→記録用ノートは各専門職が確認し、スタンプを押します。スタンプを集めて治療へのモチベーション向上に繋がしましょう。



(新しくなった減量入院ノート)



(目標シート)



(スタンプシート)



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年度ご挨拶 ～ 2023年春 ～

2023年4月1日、東日本大震災発生から丸12年、新型コロナウイルス感染症蔓延から丸3年の月日が流れた今、皆様はどのような思いでこの新たな年度をお迎えでしょうか。

昨年度、じんけいクリニックにおける診療では、過去最多となる年間17名の新規透析患者数が登録されましたが、やはり新型コロナへの対応が多く部分を占めておりました。外来透析患者さん約90名のうち残念ながら15名(約17%)の方が新型コロナへ罹患され(院内クラスターによる感染ではありません)、6名の方は陽性ではないものの、ご家族などからの濃厚接触者となられました。

当院では他の医療機関のような診療拒否など許されるはずもなく、究極のかかりつけ医、として上記合計21名への緊急対応を迫られましたが(正確には石井病院入院透析患者さん3名への対応もクリニックで行いましたため24名です)、3名は重症度が高く近隣の基幹病院へ搬送させていただき、残り21名は自宅療養中(あるいは石井病院入院中)、時に完全個室透析室で、時に3階透析室ワンフロア14床全てをコロナ対応室として再編成することで、隔離期間終了までの透析を全てマンツーマン対応で行わせていただきました。結果的に当時当院最高齢の方お一人のみが、基幹病院搬送後コロナによる直接ではないもののその後の誤嚥性肺炎から衰弱しお亡くなりになりましたが、他の方は全て寛解され、現在も元気に通院可能となっております。幸いクラスターの発生は一度もなく、当院の換気の良さが要因ではないかと自負しております。

今年度もいよいよ始まりましたが、小生にとっては関西での9年目の幕開けです。毎年毎年申しあげていることではありますが、じんけいクリニック、我々医療人が目指す所はただひとつ、守って守って相手が根負けするまで守り抜く医療であります。私自身も、医師とは職業ではなく人生そのものだ、という文言を忘れることなく24時間365日の全てをこの職責の全うに費やす所存です。

WBCで世界一となった侍ジャパン、今年度、我々も世界最高峰の血液透析治療を目指し闘い続けることをお誓い申し上げます。皆様方からのご支援、ご指導ご鞭撻また宜しくお願い致します。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年度ご挨拶

4月になり、明石公園の桜がほぼ満開になっております。晴れ晴れした気持ちの中で新しい目標に向かってスタートする事ができるタイミングでもあり、一年間の目標を立てる時期です。

透析センターとしても、目標を立てており、『多くの患者様に、当院の良さを知っていただく事と共に、当センターに来院していただいている患者様の声を聞き、透析室をより過ごしやすい環境へと改善する。』としております。また皆様には、満足度アンケートを実施し、その結果を確認し当センターの良いところ悪いところを踏まえ目標を持った改善を行っていきたくと考えております。

皆様の家族・知り合いの方々に、「石井病院・人工透析ひ尿器科じんけいクリニックに通ってよかったよ」と言ってもらえるような透析センターにするため、目標を高く持ち実行へとつなげていきたいです。

これからも、仁恵会透析センターをどうぞよろしく願いいたします。



仁恵会本部事務部長代行
兼 人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長代行

原 真一郎

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 古門 上野 西村

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>